



2017年6月7日～8日に「夢メッセ宮城」で開催された国土交通省東北地方整備局主催の「EE東北17」に出展しました。来場者数が過去最多の15,700人となった今回の展示会では、建設事業に関わる新材料・新工法、その他のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることで、新たな技術開発の促進と、社会資本の整備を通じて地域社会の発展に寄与することを目的としています。

弊社では「簡易張出式道路拡幅工法」「ロードプラス」「置き・可動式分離ブロック・GUブロック」「各種フレキヤスタ化の提案」を展示しました。「ロードプラス」では来場された方に模型を使い、実際の車同士がすれ違う様子を体験して頂きました。「GUブロック」は、3Dプリンターで製作した模型を展示し、衝突時の挙動や、設置移動が容易である様子を実演しました。

Topic

EE東北・JCI展示会レポート



翌7月12日～14日に、仙台の「仙台国際センター」で開催されたJCI（日本コンクリート工学会）主催のJCI 1年次大会2017「DATECON For the Future」へも出展しました。

JCI展示会では木チップを使い、天然素材を有効活用したプレキャストコンクリート製品を地球環境を考慮するコンクリートとして展示しました。この製品は、木チップを特殊工法でコンクリートの表面に打設することにより、独特な凹凸と柔らかな弾力性を実現しています。また表面にコケを植え付けることにより、輻射熱を低減し都市部のヒートアイランド現象を抑える効果が期待でき、同時にCO₂の削減や大気汚染物質の吸収に役立ちます。

会場には81企業の新技術の展示・解説に加えて、技術紹介セッションで最新技術の紹介が行われ、弊社のブースにも多数の方が足を運んでくれました。

今回EE東北・JCI 1年次大会に出展して、関係者の皆様の復興や新技術、地球保全に対する関心の高さ、熱意を感じ、弊社としてもより一層技術の向上に努め、社会全体に貢献できるよう今後更に努力して行きたいと改めて感じて参りました。

本社・工場

住所：山形県山形市富神台 19 番地
電話：023-643-1144（代）
FAX：023-645-5396

新庄営業所

住所：山形県新庄市若葉町 9 番 11 号
電話：0233-23-3944（代）
FAX：0233-23-3437

本社工場 PCCW 係

住所：山形県山形市鎮物町 42 番地
電話：023-645-6448（代）
FAX：023-645-6447

仙台営業所

住所：宮城県仙台市泉区虹の丘 2 丁目 8 番 1 号
電話：022-218-2881（代）
FAX：022-771-8231

神町工場

住所：山形県東根市神町西 2 丁目 1 番 62 号
電話：0237-53-9400（代）
FAX：0237-49-2302

福島営業所

住所：福島県福島市三河北町 2 丁目 8 番
電話：024-536-3800
FAX：024-536-3803

<http://www.toeicon.co.jp/>



Plus Alpha+



現場紹介

あさひⅢ型

護岸用練積みブロック

施工場所：山形県南陽市
規格寸法：控え 35・50形
施工面積：4,796m²
発注者：山形県置賜総合支庁
河川砂防課

平成25年7月の豪雨、平成26年7月の台風と梅雨前線の影響により市街地などで浸水被害が発生し、吉野川金山工区においても甚大な被害がありました。災害関連緊急対策で短期間（4年間）に集中的な改修が始まり、その一端として護岸改修に練積みブロック（あさひⅢ型）が採用されました。このブロックは鉄筋による横連結構造となっており水平積みでカーブ施工がスムーズに行えます。50形を使えば裏コシが不要となり施工性に優れ、ブロック表面は擬石模様となっており周囲の景観によく調和した出来栄となっております。



4 分割型斜角ボックスカルバート

現場紹介

施工場所 : 宮城県登米市
 規格寸法 : B6200×H5500×L1000 斜角 70°
 施工延長 : 33m
 発注者 : 宮城県道路公社

宮城県北高速道路の工事に伴い、本線と市道が交差する箇所において当初現場打ちボックスカルバートが計画されていましたが、地元住民より高速道路の早期開通の嘆願が強くあり、工期短縮の目的でプレキャストボックスカルバートに変更して施工を行いました。交差角度がある為ボックスカルバートの断面を斜角 70° にする事で延長が短縮されコスト面でも削減する事ができました。



建築用プレキャスト柱部材

現場紹介

工事名 : (仮称) D プロジェクト流山C棟新築工事
 施工場所 : 千葉県流山市西深井地内
 構造・規模 : PC 造一部 S 造 地上 4 階建て

現在急ピッチで建設が進んでいる、41 万 m² の国内最大級物流施設 D プロジェクト流山 (千葉県流山市) の C 棟現場に神町工場製作の柱 (L7330 ~ 5340×□900) が施工されています。大型物流倉庫の為、柱の長さは 5m を超える部材となります。重量も 1 本 11 t を超える部材であり、トレーラー 1 台に 2 本積みの納入となりました。使用するコンクリートの強度は 60N/mm²、高強度マスコンの為、夏期打設における発熱対策の養生管理や、柱の 4 面がそのまま表に出る為、打設面の仕上げに苦労しました。



ニューウォルコンⅣ-2 型

現場紹介

● 大臣認定宅造用 L 型擁壁 大地震対応型

施工場所 : 宮城県女川町 宮ヶ崎地区
 規格寸法 : H=1000 ~ 3000 基本、コーナー
 施工延長 : 800m
 発注者 : 女川町 (都市再生機構)

「おながわまちづくり」事業の中の女川町中心市街地で津波で家を流された被災者の移転先として高台に宅地を造成しました。基本型の短尺品はもちろん、コーナー型についても 90° ~ 179° の範囲内を 1° 単位で製造しました。どこかの宅地からも海が眺められるように区画を段々畑のようにし、それぞれの区画に L 型擁壁が使用されています。70 ~ 100 坪の土地を約 100 区画造成しています。この高台から女川町の海と中心部を一望する事ができます。



2 連式上下分割型ボックスカルバート

現場紹介

施工場所 : 宮城県岩沼市
 規格寸法 : B(4000+4000)×H1500×L1500
 施工延長 : 33m
 発注者 : 空港施設 (株)

仙台空港に隣接するヘリポートの新設工事において当初現場打ちボックスカルバートでの発注でしたがヘリコプターの離着陸の日程が決まっており工期短縮を目的に 2 連式プレキャストボックスカルバートが採用されました。空港近辺の為、日中の工事が出来ず夜間での設置工事となりました。2 連式ボック



カルバートは単体のボックスカルバートと比べて部材厚が薄い為、函体の軽量化が可能となり、コストの面でも削減する事ができました。